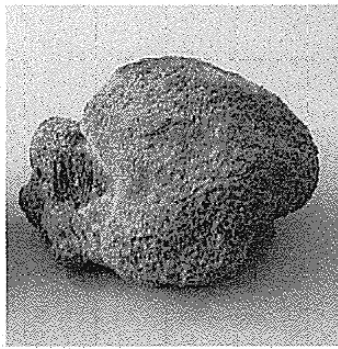


ヤマブシタケ研究



メタボリックシンドローム予防の効果が確認されたヤマブシタケ

メタボ予防効果判明

健康食品製造販売会社「坂本バイオ」（本社・秋田市、坂本賢二社長）と農林水産技術センター総合食品研究所は、健康食品として知られるキノコ、ヤマブシタケにメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群・通称メタボ）の予防に効果的であるとの共同研究成果をまとめた。今月から、職場健診などでメタボを診断する「特定健診・特定保健指導」が始まったこともあり、研究成果が関心を呼んでいる。

研究成果は、2月27日から東京・有明の東京ビッグサイトで開かれた「健康博覧会2008」で発表。博覧会終了後、同社には資料やサンプルがほしいという問い合わせが大量化。化粧品メーカーや健康食品メーカーなど十数社から寄せられているという。

研究では、マウスを6匹ずつ2グループに分けて4週間、片方に高脂肪食だけを与え、もう片方に高脂肪食にヤマブシタケのエキスを加えたものを与え続けられた。

4週間後、両グループの平均値を比較したところ、マウス1匹の体重を100増と設定して、体重は高脂肪食だけのグループは35・42増増えたのに対し、エキスを入りのグループは31・04増しか増えなかった。

また、高脂肪食だけのグループは内臓脂肪が2・968増増、中性脂肪が同一22・5増増増だったのに対し、エキス入りのグループはそれぞれ2・067

全国に自食やスーパーやで販売されている加工されたキノコ、一部が販売されている健康食品として使われている。様々な料理に使える。

タケハリのスーパーやで販売されている加工されたキノコ、一部が販売されている健康食品として使われている。様々な料理に使える。

タケハリのスーパーやで販売されている加工されたキノコ、一部が販売されている健康食品として使われている。様々な料理に使える。

効果があると想定して研究を始め、その効果は確認できた。しかし、メタボ予防効果は食物繊維による影響だけとは考えられず、今後

の研究で明らかにしたいという。後藤部長は「メタボ健診が始まったこともあり、研究結果に対する反響は大きい。ヤマブシタケを定期的にとることで予防ができれば、医療費の抑制につながるのではないか」と話している。

坂本バイオの後藤考宏企画営業部長(39)によると、食物繊維が腸内環境にいい働きをして、便秘やダイエット、脂質代謝機能などに